

<歴史建築観光サポーター育成事業Ⅱ>

西宮北部の歴史的建造物

NPO法人 阪神文化財建造物研究会



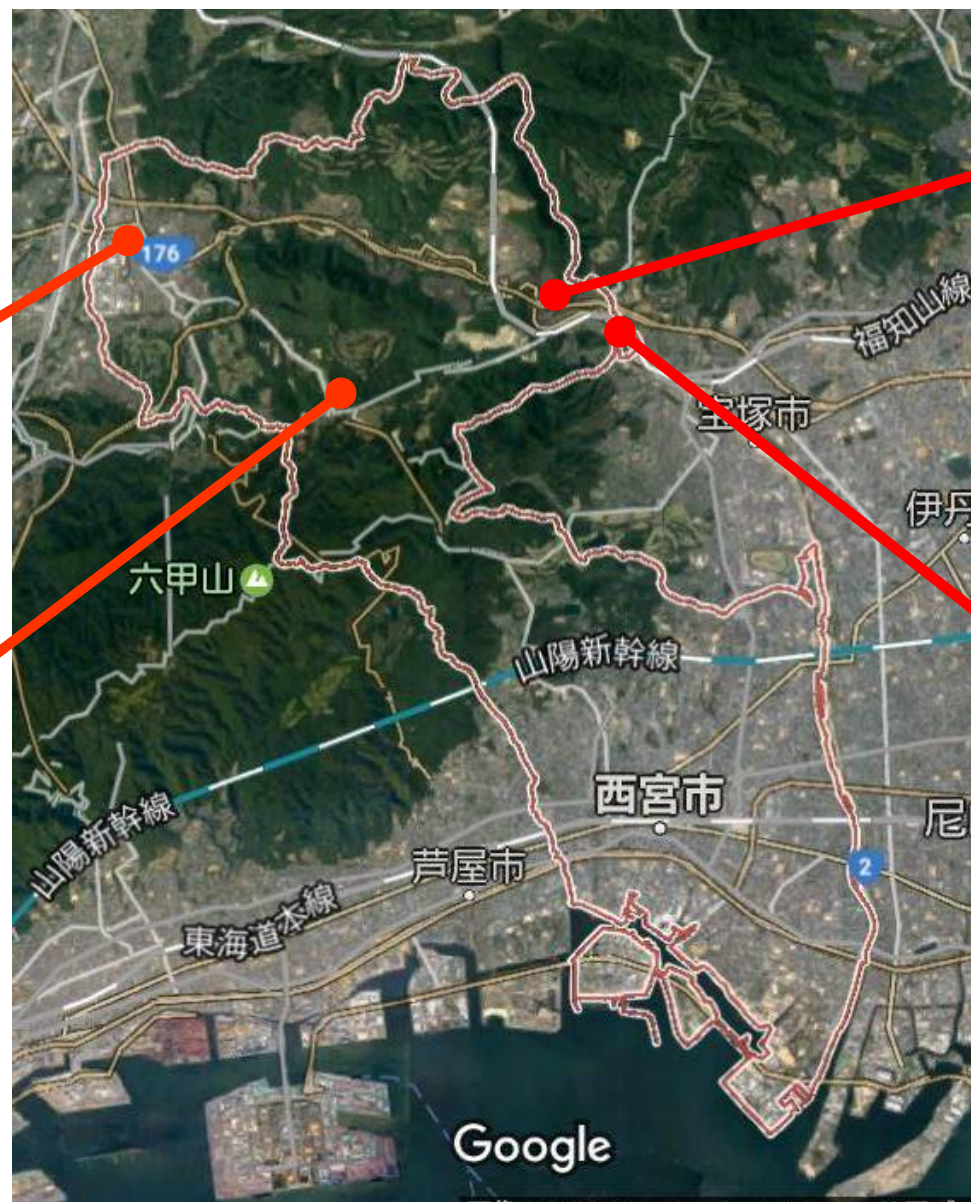
西宮北部歴史的建造物

山口地区

茅葺民家・湯山街道

船坂地区

茅葺民家・船坂小学校



名塩地区

茅葺民家

生瀬地区

生瀬宿・浄橋寺

山口名来

名塩木の元

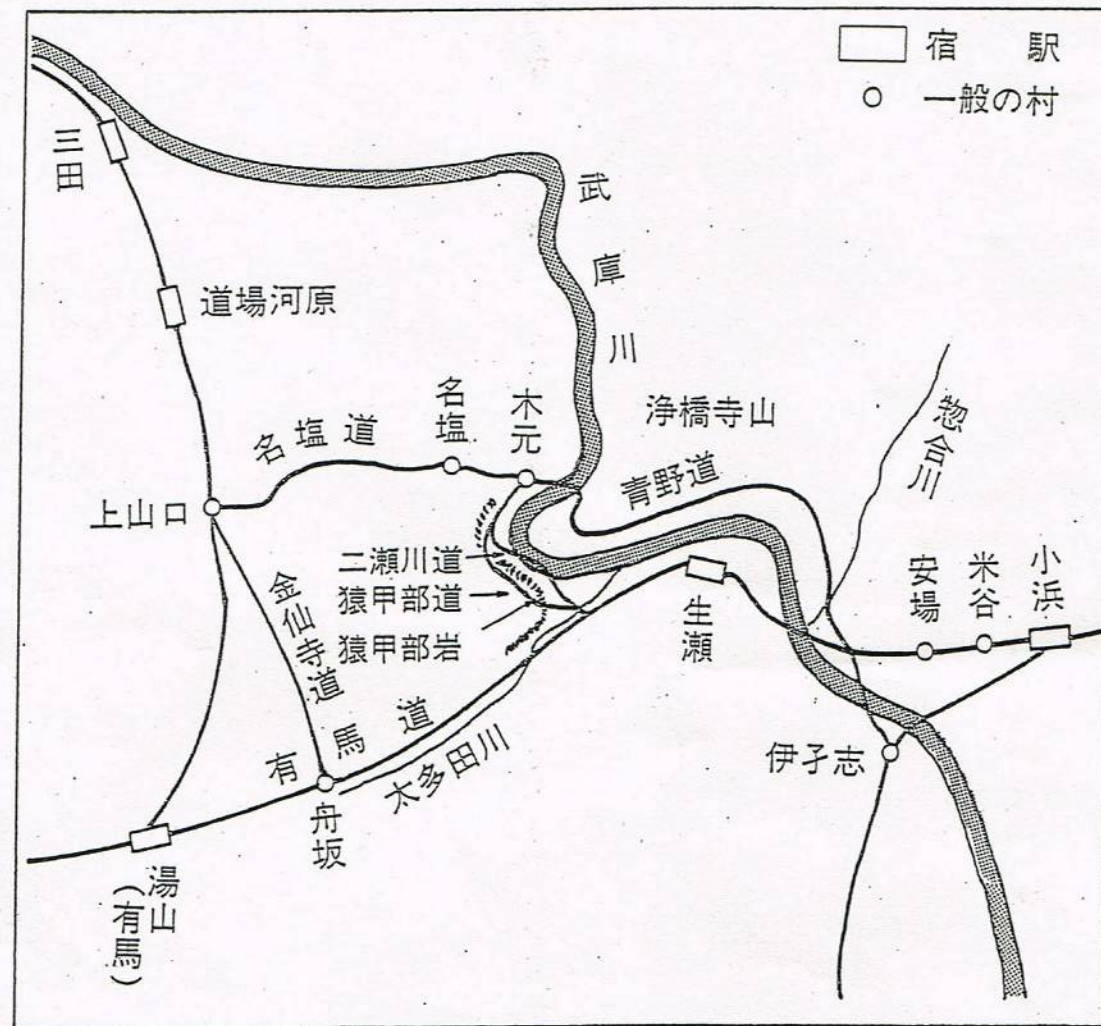


船坂

生瀬

旧街道

(宝塚市史第2巻)



船坂・1



旧船坂小学校

明治5開校、平成22閉校 船坂里山学校



旧坂口家住宅

入母屋造茅葺平入・江戸末期築

船坂・2



旧田中家住宅

入母屋造茅葺妻入・明治初期築



西口家住宅

入母屋造茅葺妻入・都市景観形成建築物

山口町名来



今西永兒邸

入母屋造茅葺平入・都市景観形成建築



丸石積塀

入母屋造厨子2階棧瓦葺平入

生瀬・1



浄橋寺庫裡

切妻造本瓦葺越屋根付・明治2年再建



浄橋寺本堂

入母屋造本瓦葺向拝付・嘉永6(1853)年再建

生瀬・2



古民家活用(マスカフェ)



徳井家住宅

切妻造厨子2階棧瓦葺妻入縦三間取

生瀬・3



滝内家住宅

切妻造厨子2階棧瓦葺妻入縦三間取



旧生瀬宿

名塩木之元



芝辻崇邸

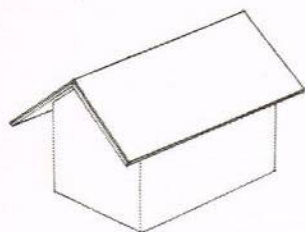
入母屋造茅葺平入



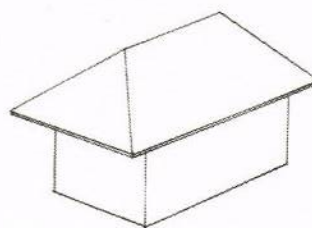
芝辻昭男邸

入母屋造低2階建棧瓦葺妻入

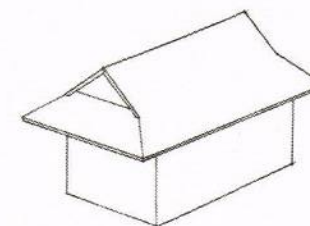
屋根の基本形3タイプ



切妻（きりづま）屋根
棟の両側に流れをもつ。
側面が妻壁となる。

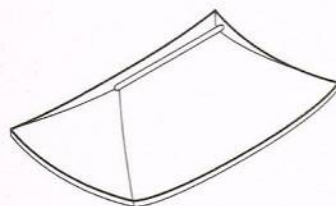


寄棟（よせむね）屋根
棟の四方に流れをもつ。

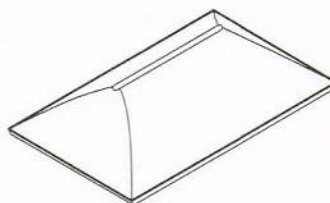


入母屋（いりもや）屋根
上部を切妻とし、四方に
流れをつけた形式。切妻
と寄棟を合わせた形。

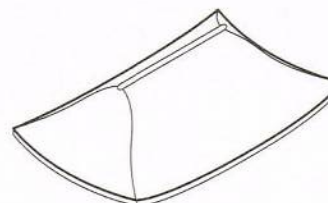
屋根の反り^そと起り^{むく}



反り屋根



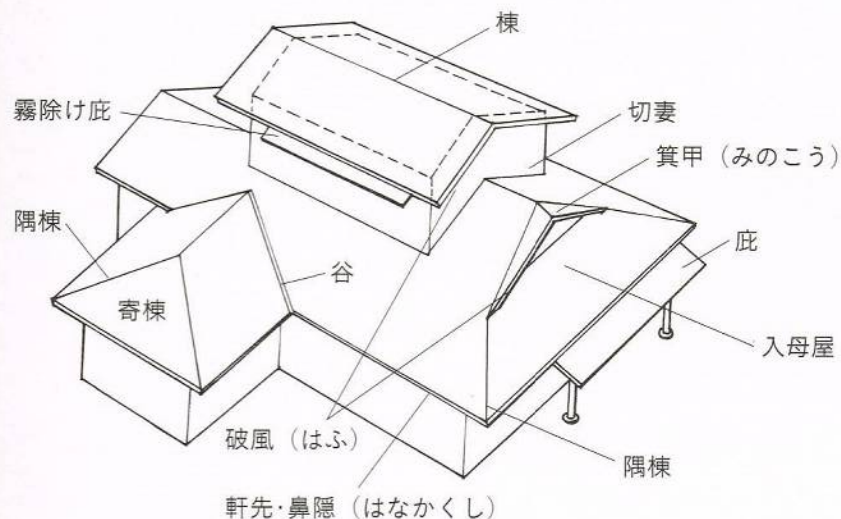
起り屋根



反り起り屋根

反り屋根では流れの勢いがより強調される。照り屋根ともいう。起り屋根は緩やかな膨らみをつけたもので、和らいだ表情となる。

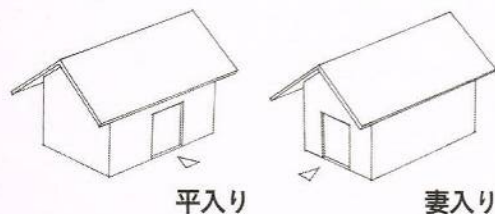
屋根の部位名称



屋根をつくるうえで大切な箇所には呼称がつけられている。風雨を防ぐために傷みやすい箇所であり、同時に見え掛かりとしても大事な部位である。工匠たちの腕の見せどころにもなる。

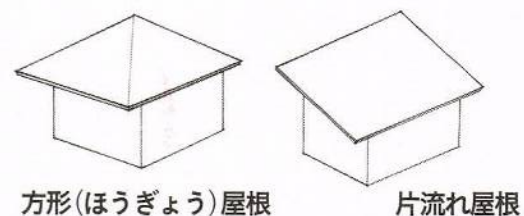
屋根の向きと出入口の関係

桁行正面を平（ひら）、側面梁間を妻（つま）と呼び、入口の取付け部分により平入り、妻入りと呼ぶ。

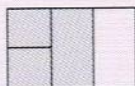


その他の屋根の形状

方形屋根は正方形平面に用いられ、四面の屋根が頂点に集まる形。片流れは屋根面が一面だけ一方向に勾配をつけたもの。

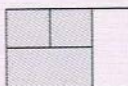
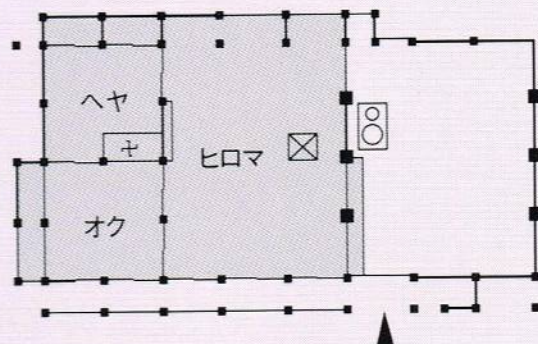


■3間取り



広間型3間取りと呼ばれる。
全国的に広く分布する。

北村家住宅(神奈川、現・日本民家園) 1687年

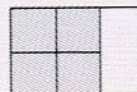


前座敷3間取りと呼ばれる。
近畿地方の古い民家にみられる。



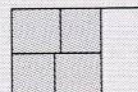
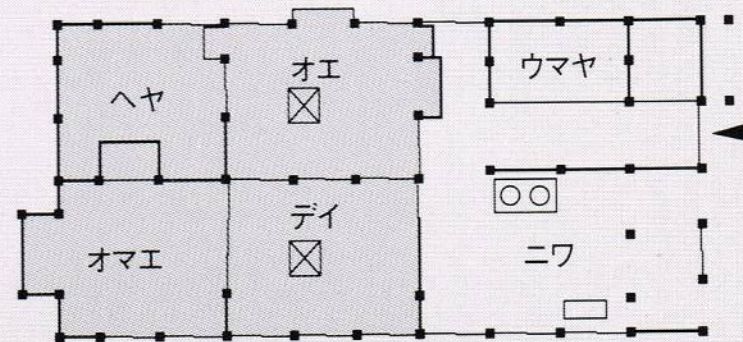
3室併列と通り土間の組合わせ。
町屋の代表的な間取りである。また大阪府北部(能勢)を中心として京都府、兵庫県の農家にもみられる。

■4間取り

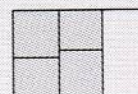


整形四間取りと呼ばれる。くいちがい型を含めて、日本の民家の代表的な間取りである。3間取りを改造している場合も多い。

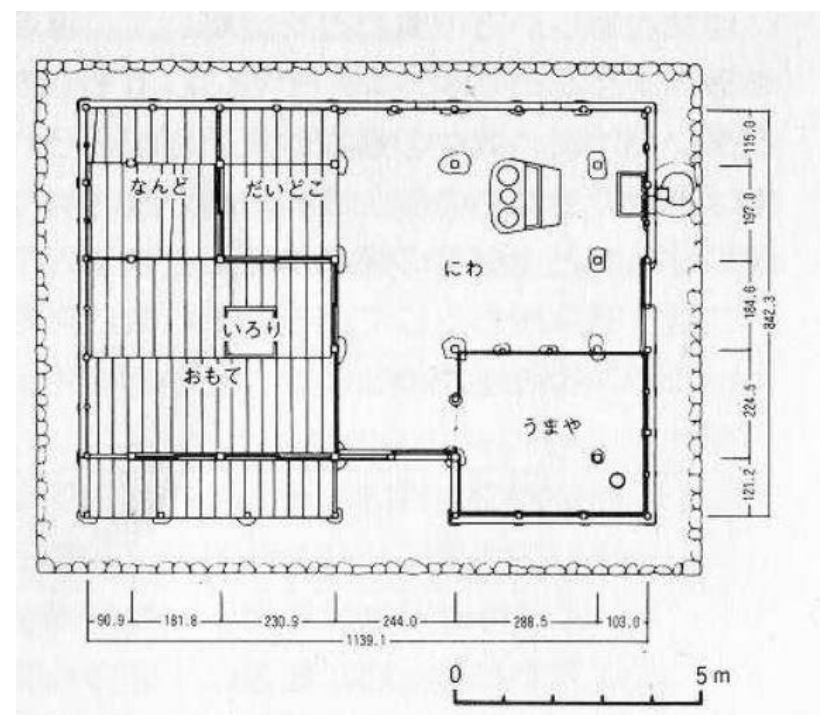
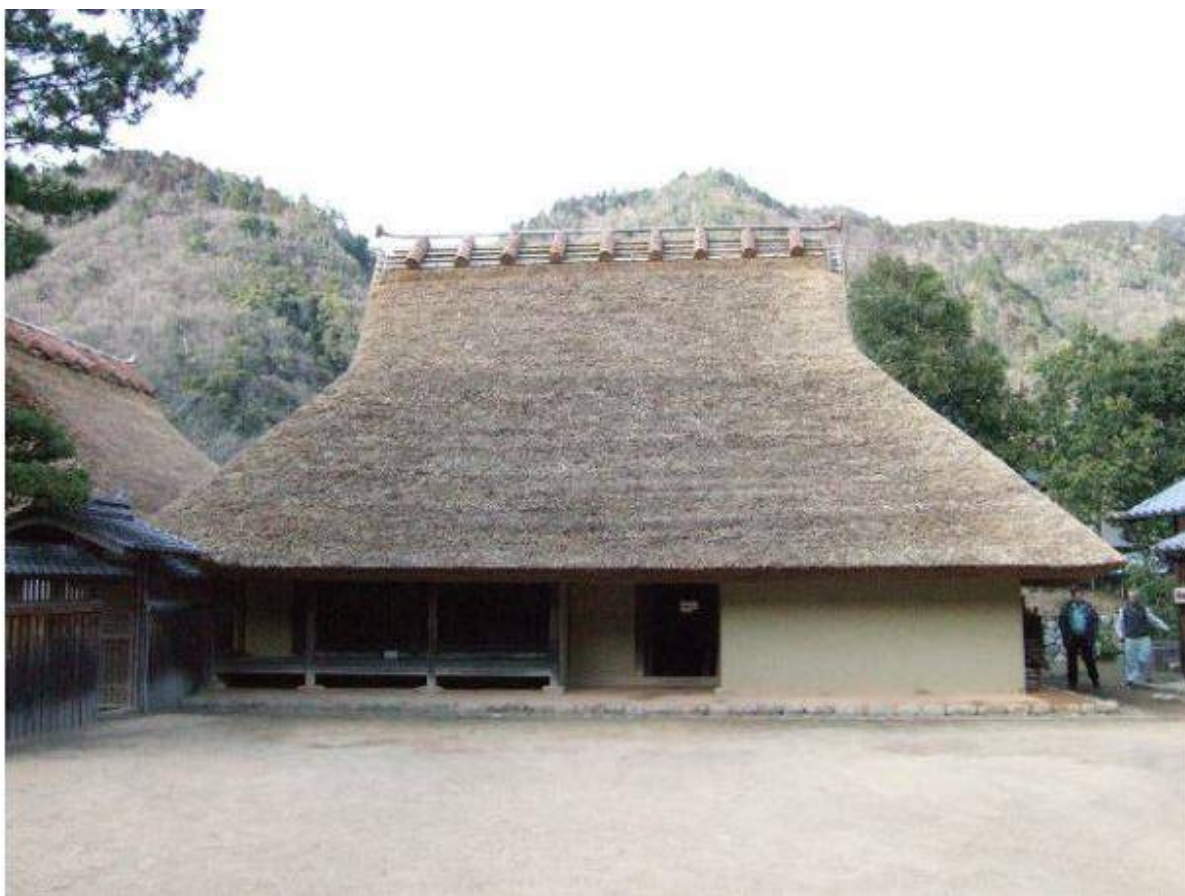
江向家住宅(富山、現・日本民家園)
17世紀末～18世紀初



タテくいちがい4間取り。



ヨコくいちがい4間取り。



箱木千年家（神戸市北区山田町衝原）

